

平成21年10月第19回互理町議会臨時会会議録（第1号）

○ 平成21年10月26日第19回互理町議会臨時会は、互理町議会議事堂に招集された。

○ 応招議員（20名）

1 番	小野一雄	2 番	熊澤 勇
3 番	鞠子幸則	4 番	相澤久美子
5 番	渡邊健一	6 番	高野孝一
7 番	宍戸秀正	8 番	安藤美重子
9 番	鈴木高行	10番	平間竹夫
11番	佐藤アヤ	12番	佐藤 實
13番	山本久人	14番	熊田芳子
15番	安田重行	16番	永浜紀次
17番	高野 進	18番	島田金一
19番	安細隆之	20番	岩佐信一

○ 不応招議員（なし）

○ 出席議員（20名） 応招議員に同じ

○ 欠席議員(なし) 不応招議員に同じ

○ 説明のため出席した者の職氏名

町長	齋藤邦男	副町長	齋藤貞
総務課長	森忠則	企画財政課長	佐藤仁志
税務課長	日下初夫	町民生活課長	安喰和子
保健福祉課長	佐藤浄	産業観光課長	東常太郎
わたり温泉鳥の海所長	作間行雄	都市建設課長	古積敏男
上下水道課長	清野博文	会計管理者	齋藤良一
教育長	岩城敏夫	会計課長	遠藤敏夫
生涯学習課長	佐々木利久	学務課長	東常太郎
		農業委員会事務局長	

○ 事務局より出席した者の職氏名

事務局長	佐藤正司	庶務班長	牛坂昌浩
書記	佐藤義行		

議事日程第1号

[議事日程表末尾掲載]

本日の会議に付した案件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

議長諸報告

日程第3 提出議案の説明

日程第4 議案第75号 平成21年度亶理町一般会計補正予算（第5号）

午前10時00分 開会

議長（岩佐信一君） おはようございます。

これより、平成21年10月第19回亶理町議会臨時会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

議長（岩佐信一君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第110条の規定により、4番 相澤久美子議員、5番 渡邊健一議員を指名いたします。

日程第2 会期の決定

議長（岩佐信一君） 日程第2、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（岩佐信一君） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日と決定いたしました。

議長諸報告

議長（岩佐信一君） 次に、諸般の報告をいたします。

地方自治法第121条の規定に基づきます説明員は、別紙お手元に配付のとおりであります。

なお、今議会より岩城教育長の出席をいただいております。

次に、町長提出議案についてであります。町長から、補正予算案1件が提出されております。

以上で、諸般の報告を終わります。

### 日程第3 提出議案の説明

議長（岩佐信一君） 日程第3、提出議案の説明を求めます。

町長、登壇。

〔町長 齋藤邦男君 登壇〕

町長（齋藤邦男君） それでは、提出議案の説明を申し上げます。

本日、第19回互理町議会臨時会を開会するに当たり、議員各位には何かとご多用のところご出席を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、今回ご提案申し上げご審議賜りますのは、予算関係議案1件であります。よろしく審議方お願いいたします。

議案第75号 平成21年度互理町一般会計補正予算（第5号）については、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,334万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ93億3,039万7,000円とするものであります。

それでは、その歳出予算についてご説明を申し上げます。

初めに、4款衛生費1項保健衛生費2目予防費であります。現在、世界保健機関は、新型インフルエンザ（H1N1）の世界的大流行を宣言し、日本国内においても、大都市を中心に全国的に新型インフルエンザが流行する中で、早目の新型インフルエンザワクチンの接種が望まれておりました。

そのような状況下において、宮城県におきましては、今月19日から医療従事者を対象にワクチンの接種が始まり、11月中には基礎疾患を有する方及び妊婦の方に対してワクチン接種が開始される予定となっております。本町においても、発症者が見受けられるようになりましたが、町民の皆様が安心して生活できることを最大の責務と考え、死亡者あるいは重症者の発生をできる限り減少させることと、その必要な医療を確保するため、新型インフルエンザの予防接種を喚起したいと考えております。

今回の予防接種は、議員各位もご承知のとおり、ワクチンの数が限られていることから、重症化する可能性の高い方々から優先的に接種することとなっております。本町において、厚生労働省が定めた優先接種対象者数は、10月1日現在で約1万7,800人と見込まれております。そのうち、重症化しやすい満1歳から中学3年生の低年齢者の方及び予防接種を行うことのできない1歳未満児を持つ親の方、並びに基礎疾患を有する方に対して予防接種費用の助成を実施するものであります。接種費用は2回合わせて6,150円となりますが、本町においては、1回目について3,600円のうち2,600円を、2回目については2,550円のうち1,550円をそれぞれ助成するものであります。したがって、実際接種者の負担は1回当たり1,000円となります。

なお、優先接種対象者のうち生活保護世帯や町民税非課税世帯の方については、自己負担なしの全額公費負担となりますが、これらの経費として、亘理郡医師会等への委託料2,829万5,000円を追加補正するものであります。

また、優先接種対象者で、町外医療機関を主治医とされている基礎疾患を有する方及び妊婦の方については、町外医療機関で予防接種を行うことが想定されることから、その接種費用に対し、1人当たり町内医療機関での接種と同じく、1回目について3,600円のうち2,600円を、2回目については2,550円のうち1,550円をそれぞれ助成するものであります。その経費は、一時、接種者が町外医療機関に全額支払いし、後日町へ償還払い請求するための費用として補助金473万1,000円を追加補正するものであります。

10款教育費5項保健体育費1目保健体育総務費であります。本年で第19回を迎えることとなった「わたり・鳥の海マラソン」は、全16種目で、町民を初め参加者は約1,600人となっております。これは、近年のマラソンやジョギングブームとも相まって、昨年度と比較すると350人ほど増加することになったため、その運営経費等合わせて31万7,000円を増額補正するものであります。

次に、歳入予算についてご説明を申し上げます。

初めに、9款地方交付税であります。今回の歳出充当一般財源として2,587万5,000円を増額補正するものであります。

14款県支出金であります。このたびの新型インフルエンザ予防接種事業の中で、生活保護世帯や町民税非課税世帯へ接種費用を全額補助することとなるた

め、予防接種費用として国が2分の1及び県が4分の1から補助割合分、合わせて4分の3相当分、674万1,000円を増額補正するものであります。

最後に、19款諸収入であります、「わたり・鳥の海マラソン」への参加者がふえたことにより、参加料72万7,000円を増額補正するものであります。

以上、予算関係の議案1件であります、慎重ご審議賜りまして、原案どおり可決くださいますようお願いを申し上げまして、提出議案の説明といたします。

議長（岩佐信一君） 提出議案の説明が終わりました。

日程第4 議案第75号 平成21年度亶理町一般会計補正予算（第5号）

議長（岩佐信一君） 日程第4、議案第75号 平成21年度亶理町一般会計補正予算（第5号）の件を議題といたします。

当局から提案理由の説明を求めます。企画財政課長。

企画財政課長（佐藤仁志君） それでは、議案第75号 平成21年度亶理町一般会計補正予算（第5号）についてご説明を申し上げます。

平成21年度亶理町一般会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

第1条歳入歳出予算の補正。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,334万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ93億3,039万7,000円とするものであります。

それでは、歳出の方からご説明を申し上げますので、10ページをお開き願います。

3歳出ということで、4款衛生費1項2目予防費3,302万6,000円の追加補正でございますが、これにつきましては、右側の方をごらんいただきますと、13節の委託料で2,829万5,000円。これについては、新型インフルエンザワクチン接種事業委託料ということでございます。先ほど齋藤町長がご説明したとおり、1回目、2回目の料金に対しまして、個人負担金2,000円を控除した残りの額に対しまして、今回対象者ということで6,096人分の委託料を計上したところでございます。19節負担金補助及び交付金473万1,000円の追加補正でございますが、これについては、19節の細目2ということでの補助金、町外の医療機関、特に妊婦の方

については、産婦人科が町内にございませんので、当然町外の医療機関でやった方がより安全に接種が可能だということでございますので、そういう方々または小児関係、かかりつけ医が町外にある方、これらの方々の接種助成金でございます。一回全額を立てかえ払いをして、後日、接種者が請求していただいて償還払いという形になります。一応人数的には1,140人程度を想定している経費相当でございます。

次に、10款教育費5項1目保健体育総務費31万7,000円の増額補正でございますが、これにつきましては、細節のほうで8節報償費10万円、11節需用費で5万8,000円、13節委託料10万8,000円、14節使用料及び賃借料で2万1,000円、16節で原材料費3万円ということで、約350人ぐらいふえたということで、申し込みが1,600人を超えたということでございますので、流用できない科目もあったことから今回増額補正をするものでございます。

次に、ページ戻っていただきまして、8ページをごらんいただきたいと思えます。

8ページは歳入科目でございます。9款地方交付税1項1目地方交付税。今回2,587万5,000円の増額補正でございます。これについては、歳出財源の不足額の充当分でございます。

次に、14款県支出金2項3目衛生費県補助金。これについては674万1,000円の増額補正でございますが、これは、生活保護世帯及び町民税の非課税世帯の優先接種者の対象者に対して、県と国から全部で4分の3相当額ということで、1,498人分の補助金を見込んだ数字でございます。

次に、19款諸収入4項1目雑入72万7,000円の増額補正ですが、これにつきましては、「わたり・鳥の海マラソン」の大会参加料が決定しておりますので、増額分を計上させていただいたところでございます。

内容については以上で説明を終わります。

議長（岩佐信一君） これより質疑に入ります。質疑はありますか。3番鞠子幸則議員。

3番（鞠子幸則君） 11ページ、4款1項2目、新型インフルエンザ。厚生労働省の方針では、優先接種対象者、順序から行くと医療従事者、妊婦、基礎疾患のある人、1歳から就学前まで、小学校1年生から3年生、1歳未満の保護者、小学校4年

から6年、中学校、高校、最後に健康な高齢者（65歳以上）というふうに接種順位がなっております。全国の対象者は5,400万人。そのうち、健康な高齢者は2,100万人、約4割です。

そこでお伺いしますけれども、10月1日現在の亶理町の優先接種対象者が1万7,800人、そのうち健康な高齢者は何人なのか。これがまず第1点目。

第2点目。1回の接種料3,600円、2回の接種料2,550円です。このうち、なぜ自己負担を1,000円にしたのか、その根拠をお伺いします。

議長（岩佐信一君） 保健福祉課長。

保健福祉課長（佐藤 浄君） まず、第1点目の健康な高齢者の人数の把握でございますが、現実的には正確な数字はつかめてございません。

ただ、こちらのほうで、基礎疾患を有する方というふうな方そのものが、お医者さんの方でないとかかめないと。それから、先ほど町長の説明にもありましたとおり、亶理町内あるいは亶理郡内だけのお医者さんにかかっているわけではございませんので、仙台なりそちらの方でのかかりつけというふうなことでかかっているいらっしゃる方がいると。あと、保険につきましても、健康保険もいらしゃれば社会保険の方もいらしゃるということで、そういったことで、全体として基礎疾患を有する方が大体2,500名ぐらいだろうと。それから、高齢者につきましては年齢の方で約8,000人ということで把握してございますが、このうち何人の方が実際基礎疾患を有していらっしゃるのかということについては、現時点ではつかんでございません。

それから、1,000円の根拠でございますけれども、季節型のインフルエンザございますけれども、そちらの方が約3割ということで補助を出している経緯がございます。そういったことで、約3割に近いお金でございまして、若干の金額の端数が出るんですけれども、医療機関の方をお願いをするということもございまして、窓口の方で1回1,000円の徴収というのが、今回の場合、特に現時点では2回の接種ということがございますので、1回1,000円ということで徴収していただければ、事務的にも、また約7割の補助ということで、補助的にもいいのではないかと内部の検討の結果、1,000円という数字を出させていただきました。

以上でございます。

議長（岩佐信一君） 鞠子幸則議員。



3 番（鞠子幸則君） 自己負担の1,000円、季節型インフルエンザの3割が自己負担で、それを計算考慮すると1,000円と。この1点は合理的な根拠がありますね。

もう1点お伺いしますけれども、優先の接種対象者が1万7,800人です。この中には健康な高齢者も入っているはずなんですね。であれば、この数字をはじき出すときに、健康な高齢者が何人かということははじき出すはずなんですね。そうしないと1万7,800人という数字は出てこないと。

もう一つは、なぜ健康な高齢者を除いたのかと。助成の対象としないのかということですね。その答弁と、もう1点は、ご存じのとおりきのうの河北新報では、富谷町が優先接種対象者全員、町民の約4割1万9,000人の費用の全額を助成すると。経費は1億2,000万円。この財源はどこから持ってくるかというのと、財政調整基金の一部を取り崩すと。富谷町の財政調整基金の残高は平成20年で35億円となっています。そういう財政調整基金があるから取り崩すというふうになっていて、河北新報の記事によると、「感染者は拡大している。安心・安全のまちづくりを進めるために負担軽減を図りたい」というふうに河北新報には載っていません。齋藤町長は、安全・安心のまちづくりを大きな看板にしております。そういう意味ではこの富谷町の動向はどう考えていますか。その2点です。

議長（岩佐信一君） 保健福祉課長。

保健福祉課長（佐藤 浄君） まず、第1点目でございますけれども、当町の高齢者、優先順位がついております65歳以上の高齢者につきましては、8,079人ということで数字はつかんでございます。

ただ、先ほど来申し上げましたとおり、このうち基礎疾患を有する方と。結局これはお医者さんの方で優先順位に入る基礎疾患かどうかという判断していただくようになりますので、そこからうち何人入っているのかと。先ほどお話ししております、例えば小学性の中にも基礎疾患を有している方というのはいらっしゃると思います。そういったことで、厳密にそれぞれの人数はつかんでおりますけれども、基礎疾患については概数なんですけれども、それぞれの年代で、うち基礎疾患を有していて、逆に健康な人数が幾らかというふうなのはつかむのはなかなか難しいというふうなことでございます。

それから、先ほどのもう1点目でございますけれども、まずもって、今回当町の方で優先順位者の中で補助をさしていただくと決めさせていただいた根拠につ

きましては、今回の新型インフルエンザにつきましては、季節型インフルエンザとほとんど同じでございます。ただ、言われておりますのが、唯一違いますのが、季節型インフルエンザについては高齢者の方が重くなりやすいと。反面、今回の新型インフルエンザにつきましては、若い方、それから基礎疾患を持っているらっしゃる方が重くなるリスクが高いというふうなことが言われておまして、国の方でも小学校3年生まで、それから基礎疾患を持っている方が最優先というようなことだったんですけれども、その最優先にさらに、新聞等々でも感染力が強いと言われております小学校4年生から6年生まで、それから中学生までを加えたということでございます。

なお、この補助対象割合につきましては、隣接の市町村ということで、名取市、それから岩沼市ということで、同じ対象者というふうなことで行っております。

また、山元町さんにつきましては現在検討中ということでございますが、なるべく亘理町と同じようなところまで引き上げたいということで検討しているということでございます。

以上でございます。

3 番（鞠子幸則君） もう1点。富谷町の……、富谷町については。

議 長（岩佐信一君） 町長。

町 長（齋藤邦男君） ただいま保健課長のほうから、新型インフルエンザあるいは季節型インフルエンザの補助内容についてご説明を申し上げたところでございます。

そういう中で、今鞠子議員さんから富谷町、きのうの新聞に全額補助。それは富谷町の財政、あるいはご案内のとおり富谷町の住民、そのことについては全部仙台通いの通勤者で、サラリーマン世帯でございまして、税そのものについても特別徴収が恐らく98%、99%の特別徴収ということで、会社の方からの特別徴収で納入するということから税の未納者も少ないということ。そして今お話のとおり、財政調整基金も膨大な基金の積立額もあるということで、富谷町の首長、いろいろどういふ考え方わかりませんが全額補助政策。

しかし、その際に季節型インフルエンザの補助金はどのようになっているか、それとのバランスを考えたのかどうかと私は思っております。富谷町さんについて。

そういう中で、ただいま課長から申されたとおり、この新型インフルエンザそのものについては、亶理町では以前からこの緊急対策本部をつくりながらいろいろ検討させ、そして国の方針も決まったということから、すぐ補正予算を対応したいということで考え、その中で、岩沼、名取、そして山元にも連絡して、補助割合等もいろいろと課長等々で打ち合わせをさせておったわけでございますけれども、それらについてもまだ岩沼、名取も、はっきりした確認は決まっておりますけれども、亶理方式でないと、やはり亶理の方々が岩沼、名取、あるいは山元、そして仙南の医療機関にかかる。それを亶理町民の方々が、例えば1,000円負担するのにほか2,000円になるとか、あるいは無料とか、やはり地域のバランスを考えなければならないということで、今回1,000円の負担額でお願いをするということに決定をさせていただいたところでございます。

以上でございます。

議長（岩佐信一君） 鞠子幸則議員。

3 番（鞠子幸則君） 別な角度で、もう一回お伺いいたします。

昨日の毎日新聞10月25日社説では、政府の新型インフルエンザ対策、主にこれは接種回数の問題で、それを取り上げて毎日新聞が主張をしております。

どういう主張かという、「新型インフルエンザ対策は待ったなしの緊急課題である。要所要所で政治的主導により政策決定をして、パンデミック、危険な状態を乗り切っていく必要がある。その上で、関係者が一丸となって迅速に対策を進めることが何よりも大事だ。そのために、長妻厚生労働大臣は政治的な指導性を発揮してほしい」と。

本来であれば、こういう緊急事態、いわゆる危機管理の状態にあるわけですから、本来であればワクチンの全額を国は助成すべきだというふうに私は思います。それは、民主党、社民党、国民新党の連立合意事項でも、新型インフルエンザ対策を強化すると言っているんですね。そう言っておきながら、いまだに新型インフルエンザ対策について接種回数を含めて右往左往していると。やっぱり国がしっかりとした、ワクチンについても全額助成すると言った必要があるということと、同時に自民党がワクチンを無料にすると言っているんですね。政府に対して無料にするという要求をすべきだと思いますがいかがですか。

議長（岩佐信一君） 町長。

町 長（齋藤邦男君） 鞠子議員さんから。私もそのように考えております。やはり、この新型インフルエンザそのものについては、政権与党あるいは野党の方々であってもそういう約束をしているわけでございます。本来ですと、国の制度として全額補助金を出し、町の、要するに市町村の負担をなくするのが本来の制度ではなからうかと。これらについても、全国市町村長全国会議の中でも要望書を提出しておるわけでございます。

そういう中で、国のほうでも2分の1、あるいは県のほうで4分の1ということそのものについても、やはり今言ったように亶理町は1,000円の負担、富谷町が全額無料ということの位置づけも、やはり補助制度の場合については全国统一した内容で出すべきではなからうかと。そうしないと、町村町村によってばらつきが出る。そして医療機関も混乱すると思うんです。どこどこの町民が来た場合はゼロ、全額、あるいは先ほどの報奨金の問題と委託料の問題の仕分けが大変なわけでございます。

そういうことで、今後ともこういう制度的な内容については国の方で全額負担すべきと私も思っておるところでございます。

以上でございます。

議 長（岩佐信一君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長（岩佐信一君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議 長（岩佐信一君） 討論なしと認めます。

これより議案第75号 平成21年度亶理町一般会計補正予算（第5号）の件を採決いたします。

本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第75号 平成21年度亶理町一般会計補正予算（第5号）の件は、原案のとおり可決されました。

以上をもって本日の会議を閉じます。

これをもって、平成21年10月第19回亶理町議会臨時会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

午前10時36分 閉会

上記会議の経過は、事務局長 佐藤 正 司の記載したものであるが、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

亘理町議会議長 岩佐 信一

署名議員 相澤 久美子

署名議員 渡邊 健一